

## 座長挨拶

【 第5回北陸地域連携プラットフォーム 平成27年1月20日(火) 】

開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

北陸地域連携プラットフォームは、昨年1月14日(火)に第1回を開催して以降、3回にわたり、北陸地域の喫緊の課題である人口減少、少子・高齢化をテーマに意見交換等を行ってきたところです。

他方、皆さま既に御承知のとおり、昨年12月27日(土)に日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及びこれを実現するため、今後5か年の目標や施策や基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。また、予算面の裏付けとなる平成26年度補正予算案が1月9日(金)に、平成27年度予算案が同14日(水)に閣議決定されたところです。

本日の新聞を見ますと、「地方創生へ21計画支援、第一弾認定へ」とされ、これは、まち・ひと・しごと創生法とともに成立した地方創生関連法の一つ、改正地域再生法に基づいて22日に決定されるものであります。

このような流れも踏まえ、本日は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の菊地次長から『地方創生に向けた施策等について』、鯖江市の牧野市長から『「鯖江から国を変える」～住みたくなる、住み続けたくなる町、鯖江の創造～』について、お話しいただくこととしています。

それぞれの地域の将来は、地域で育まれた伝統、文化、価値観、地域資源などの下で、地域自身が考え、議論し、選択していくことになるかと思いますので、本日の基調講演を踏まえ、活発な意見交換をよろしくお願いします。

以上